



指揮・ピアノ・司会/宮川彬良

# おもしろ クラシック

～オーケストラセ変化～

**第1部 名曲もお色直し**

- ♪ アイネクライネ“タンゴ”ムジーク
- ♪ マンボno.5 × 交響曲no.5 他

**第2部 アキラさんのソングブック**

- ♪ 宮川彬良:「ゆうがたクインテット」より  
メインテーマ～ただいま考え中～目は怒っている\*  
空のわすれもの\*  
オーケストラの森 他



ソプラノ/加藤恵利子\*



バリトン/塚本伸彦\*



管弦楽/セントラル愛知交響楽団

2022 **12/13** [火] (17:45開場) 18:45開演  
愛知県芸術劇場コンサートホール

TEL 052-971-5511 名古屋市東区東桜一丁目13番2号(地下鉄「栄」駅下車徒歩3分)

チケット料金 | 全指定席(税込) 未就学児のご入場はご遠慮ください。

発売日 一般9/14【会員先行9/12・13】

A席 4,000円 [A席ペア 6,000円] B席 3,000円 [B席ペア 4,500円] C席 2,000円 / U25席 1,000円

※ペア席は前売のみ、数量限定 ※U25席は座席指定不可。公演日に25歳以下対象、要身分証明書、当回事務局のみの取扱い。

- ・車椅子席は当回事務局のみの取扱い。
- ・当団会員様は会員先行発売・会員割引価格でのご購入が可能となります。  
〔当回事務局のみの取扱い、ペア席・U25席は割引対象外〕
- ・やむを得ない事情で公演の中止または出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございます。



【要事前予約】本公演ではヒアリンググループ(磁気誘導ループ)が客席の一部で作動いたします。また字幕タブレットも併せてご利用頂けます。…鑑賞サポート: 名身連聴覚言語障害者情報文化センター…

ご希望の方は事前にセントラル愛知交響楽団事務局までご連絡ください。  
TEL 052-581-3851 / FAX 052-581-3852 / メール ticket@caso.jp

お申込み  
お問合せ

セントラル愛知交響楽団

TEL 052-581-3851 ※チケットはホームページからもお申込みいただけます。  
(10:00～17:30/土日祝休) <http://www.caso.jp>



プレイ  
ガイド

愛知芸術文化センタープレイガイド TEL 052-972-0430  
チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード〔225-764〕

主催: 公益社団法人セントラル愛知交響楽団 共催: 日本経済新聞社  
特別協賛: ダイドー株式会社 後援: 愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会



「第1部」では、クラシックの名曲を——。  
でも、お馴染みのはずのあのフレーズが…!? アキラさんマジック炸裂!!  
「第2部」では、数ある宮川作品の中から選りすぐりの曲たちを——。  
アキラさんサウンドの神髄に迫ります。



©Daisuke

指揮・ピアノ・司会 宮川彬良 Miyagawa Akira

作曲家・舞台音楽家 / 1961年東京都出身

劇団四季、東京ディズニーランドなどのショーの音楽で作曲家デビュー。その後数多くのミュージカル・舞台音楽を手掛ける。代表作に「身毒丸」(読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞)、「ミラクル」(東京芸術劇場ミュージカル月間優秀賞受賞)、「ハムレット」(読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞)、「天保十二年のシェイクスピア」(読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞)、「ONE MAN'S DREAM」など。また、ショーのために作曲した「マツケンサンバII」が大ブレイク、舞台音楽からヒット曲を送り出した。NHK Eテレ「クインテット」BS2「どれみふぁワンダーランド」BSプレミアム「宮川彬良のショータイム」で音楽を担当し自身も出演。アニメ「星のカービィ」宇宙戦艦ヤマト2199/2202、NHK木曜時代劇「ちかえもん」、連続テレビ小説「ひよっこ」の音楽、「第68回紅白歌合戦」のオープニングテーマ、オーケストラ曲「風のオリヴァストロ」「シンフォニック・マンボNo.5」などのほか、『コンサートはショーである』を信条に各地で精力的に演奏活動を行っている。

2022年 エッセイ集「アキラさん」は音楽を楽しむ天才”(NHK出版)を上梓。



ソプラノ 加藤恵利子 Kato Eriko

名古屋市出身。名古屋音楽大学声楽学科卒業。第34回芸術創造賞を受賞。これまでに歌劇「あしたの瞳(初演)」「ブラック・ジャック(初演)」(以上、作曲・指揮宮川彬良)、戦国オペラ「本能寺が燃える」(鼎蝶・お濃役、演出西川右近)、オペレッタ「こうもり」(アデーレ)「伯爵令嬢マリツア」(リーザ)、ミュージカル「ザ・ミュージックマン」(マリアン・バルレー)「ライト・イン・ザ・ピアッツァ」(マーガレット)東宝ミュージカル「屋根の上のヴァイオリン弾き」等に出演する他、コンサートでのナレーション、司会をつとめる。自主企画に「加藤恵利子～日本の歌、お好きですか?」「Valentine Dinner Show～ラブソング、お好きですか?」「みみコン～みんなと耳の日コンサート」等。



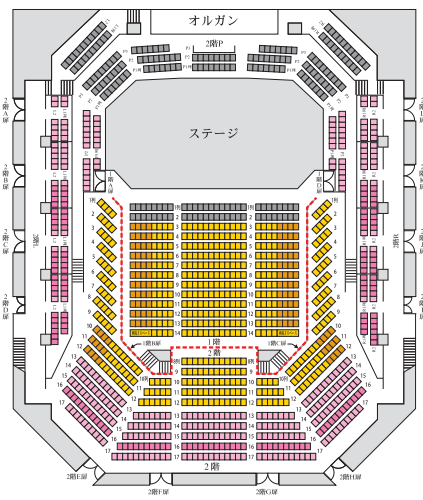
バリトン 塚本伸彦 Tsukamoto Nobuhiko

名古屋芸術大学声楽科卒。米イーストマン音楽学校にて修士号を取得後、マンハッタン音楽院でProfessional Studiesのディプロマを取得。在米中にはNew York City Opera等数々の劇場でオペラやコンサートに出演。帰国後は劇団四季の舞台にも出演するなど、ミュージカルの分野にも進出し活動の幅を広げている。最近ではオペラ、合唱曲ソロといった声楽ソリストとしての活動を精力的に行う傍ら、アメリカで習得した最新のディクッションを生かして英語歌唱指導者としても活躍している。令和元年度愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。声楽をAshley Putnam、Dale Moore、岩森榮助、濱名周子の各氏に師事。現在、名古屋芸術大学音楽領域准教授、同朋高等学校音楽科非常勤講師、豊田市民合唱団常任指揮者、名古屋二期会会員。

セントラル愛知交響楽団 Central Aichi Symphony Orchestra

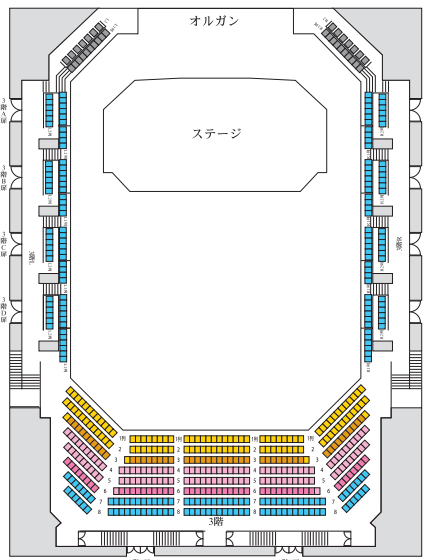
1983年ナゴヤシティ管弦楽団として発足。岩倉市との音楽文化普及事業委託契約による事業補助を受け1997年に現名称に改名。2009年一般社団法人となり、2021年4月に愛知県より認定を受け公益社団法人となる。2019年4月から常任指揮者に名古屋出身の角田鋼亮が就任。名誉音楽監督にレオシュ・スワロフスキー、桂冠指揮者に小松長生、特別客演指揮者に松尾葉子、首席客演指揮者に齊藤一郎、正指揮者に古谷誠一を擁し活動を行う。定期演奏会、コンチェルトシリーズ、「第九」演奏会等の自主公演の他、バレエ、オペラ等の依頼公演にも数多く出演。海外では2007年中国内蒙古自治区、2009年タイ・バンコク(文化庁国際交流支援事業)、2017年韓国・釜山(釜山マル国際音楽祭)で公演し成功を収める。2022年度からは「超!有名曲シリーズ」を含む新たなシリーズをスタートし、2023年の40周年に向け意欲的な試みを企画している。2015年半田市と音楽文化振興の協定、2019年一般財団法人稲沢市文化振興財団とも協定を締結。1996年「平成7年度愛知県芸術文化選奨文化賞」、2005年「平成16年度名古屋市芸術奨励賞」、2007年「第2回名古屋音楽ベンクラブ賞」受賞。

客席のご案内 1・2階席



■ A席 (■はベア席) ■ B席 (■はベア席) ■ C席  
※ ■ オルガン席、1階1・2列目の販売はございません。

3階席



Twitter



Instagram



Facebook



感染症対策ご協力をお願い

- チケット購入時にご登録頂く個人情報は保健所等の指導のもとに提供する場合があります。ご了承ください。
- 発熱や体調不良の場合はご来場をお控えください。
- 会場内でのマスク着用・検温・手指消毒にご協力ください。
- 出演者への贈り物・面会をご遠慮ください。

※2022年9月現在の対策です。今後状況により変更となる場合があります。最新の情報は当団HPにてご確認ください。